

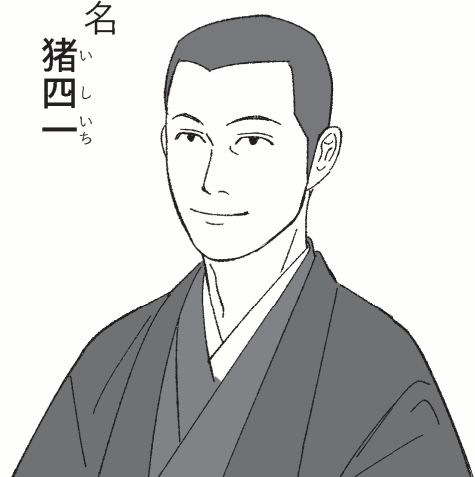
石崎光瑠物語

歴代日本画家の紹介漫画でもおなじみ、
日本画家・河野沙也子さんが、
本展に石崎光瑠の紹介漫画を
描き下ろしてくれました。

【河野さんコメント】 漫画を描くために様々な文章や写真資料を拝見しましたが、登山前に撮られたと思われる写真の中で、好奇心を抑えられない少年のような表情をされているのが特に印象的でした。人に優しく飾らない性格だったという光瑠さん。そんなお人柄が少しでも伝われば幸いです。

いしざき こうよう
石崎光瑠

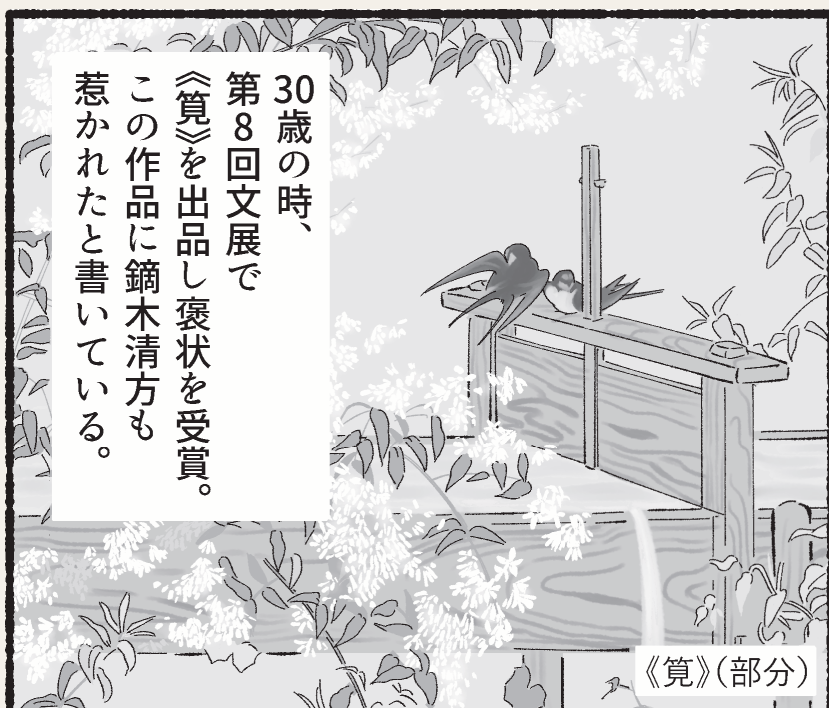
1884/04/11
-1947/03/25



本名 猪四一
出身地 富山県砺波郡福光町
(現南砺市)
実家 豪商
(父は実業家で文人)
家族構成 五男
師匠 山本光一、竹内栖鳳
好きな食べ物 干し柿

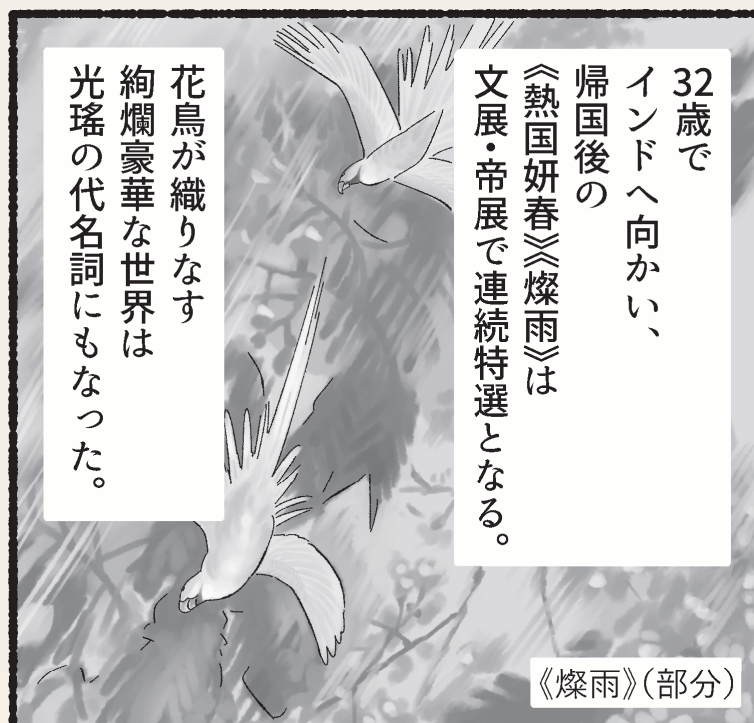


22歳の頃から
本格的な登山を始めた光瑠。
草花や山容を写生したり、
写真を撮ったりしたという。



30歳の時、
第8回文展で
《寛》を出品し褒状を受賞。
この作品に鏤木清方も
惹かれたと書いている。

《寛》(部分)



32歳で
インドへ向かい、
帰国後の
《熱国妍春》《燦雨》は
文展・帝展で連続特選となる。

《燦雨》(部分)



昭和に入り、
上品で重厚な大作
《寂光》が生まれる。
光瑠は
夢の様な美しい世界を
追い求めたのだった。

栖鳳門で出会った
土田麦僊とは苦学生として
境遇を分かち合い、
二人でお金を出し合って
写生用の鳥を借りたことも
あったようだ。



石崎君
もう返しに
行かんと…

あと
少しだけ！



麦僊らは
絵専へ入学したが、
家庭の事情から
光瑠は進学せず
山の世界へ入っていく。

1909年には
民間パーテイとしては
初の剋岳登頂に成功し、
後にはヒマラヤにも
登るなどしている。



ヨーロッパ滞在中には
いがみ合う友人たちの
仲を取り持ったりと、
人情に篤い姿も
書き残されている。

黒田重太郎

麦僊

バチバチ…

光瑠といえば
伊藤若冲とも関係が深い。
ある時学生から
こんな情報を受け…



西福寺にある襖絵が
若冲のものかも
しれません

後日襖絵を見に行き、
感銘を受けた光瑠は
襖絵の模写作品を制作した。



光瑠の若冲研究は
若冲作品の再評価へつながり、
光瑠自身の作品世界を
広げる手がかりにもなった。

「生誕140年記念 石崎光瑠」展 関連マンガ

2024年

制作：河野沙也子 KAWANO Sayako

X(twitter) : @aaooao5 ※無許可の転載、転用を禁じます。

Reproduction is prohibited.

参考文献：石崎光瑠「西福寺の若冲襖絵 | 新発見の画蹟を観て」『中央美術』12巻5号、1926年5月
石崎光瑠「土田麦僊君の苦学時代」『塔影』12巻7号、1936年7月
黒田重太郎「光瑠君と私」『美之國』13巻7号、1937年7月

絵専…京都市立絵画専門学校